北海道札幌英藍高等学校における特別活動の全体計画

スクール・ミッション

・ 全日制普通科単位制高等学校として、地域の期待に応え、時代とともに変化し続ける社会に有為な人材として活躍できる人を育成します。
・ 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒を育成します。
・ 変化する社会に対応するため、幅広い知識と教養を身に付け、他者と協働して課題解決を図ろうとする生徒を育成します。

関係法規

・ 日本国憲法
・ 教育基本法
・ 学校教育法
・ 道の教育方針

学校の教育目標・校訓

・ 立志錬磨：志を立て貫く意志を持ち、たゆまず錬磨する力を育む。
・ 自主自律：正しい判断力を身につけ、主体的に行動する力を育む。
・ 右文左武：学業と部活動等に専心し、総合的に成長する力を育む。

生徒の実態

・ 純朴で素直な生徒が多い。
・ 大学、短大、専門学校へ進学する生徒が多い。
・ 部活動の加入率が7割以上である。
・ 毎年いずれかの部が全国大会へ進む。
・ 行事への参加は積極的である。

育成を目指す資質・能力に関する方針

・ 自らの意志と判断をもとに目的を果たすために進んで取り組むことができる生徒。
・ 自らの役割を理解し、他者と協力しながら自分の役割を果たすことができる生徒。
・ 好奇心を持ち、自ら課題を発見し、解決のため工夫し行動することができる生徒。
・ 場の状況を踏まえて、他者の思いを汲み取り、優しく行動することができる生徒。

教育課程の編成及び実施に関する方針

・ 社会に開かれた教育課程を推進し、豊かな人間性の育成を目指す。
・ 生徒の多様なニーズに対応し、一人一人の進路目標の実現を目指す。
・ 1年次では共通科目とし、2・3年次では多様な選択科目を設定する。
・ 基礎基本の確実な定着及び一人一人の進路目標に対応した学校設定科目や選択科目の工夫・改善を図る。

入学者の受入れに関する方針

・ 基本的な生活習慣が身に付いており、正しい判断と行動をしようとする生徒。
・ 進路目標が明確で、その実現に向けて絶えず意欲的に努力しようとする生徒。
・ 学校生活をとおして、学習、部活動、生徒会活動等で活躍しようとする生徒。

保護者の要望

・ 心身ともに健康で、望ましい人間関係を築き、規律ある充実した学校生活。
・ 進路希望を実現するためのきめ細かい指導。
・ 部活動と学習の両立。

特別活動の重点目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、集団活動において、互いの良さや可能性を発揮しながら課題を解決することを通して、次のような生徒を育成する。
・ 集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けられる生徒。
・ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見い出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思を決定したりすることができる生徒。
・ 集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとする生徒。

地域の実態

・ 札幌市の北の端に位置し、玉葱畑や牧草地に囲まれ自然が豊かである。
・ 地域の本校への関心や期待は高く、教育活動に対して理解を示しており、協力的である。
・ PTAの研修、広報・生活の委員会の活動も活発である。

特別活動の評価の観点

・ 集団や社会の一員として、生活の充実や向上を実現するための知識・技能。
・ 社会的自立に向けて、集団や自己の課題を見い出し、解決方法を探るための思考・判断・表現。
・ 生活や社会、人間関係の課題を主体的に解決していこうとする態度。

【ホームルーム活動の内容】

(1)ホームルームや学校の生活づくり
・ 集団の一員として、役割と責任を果たし、互いに良さを認める「望ましい人間関係」を育てる。
・ 生活の中で起こる様々な課題を解決していこうとする「自主的、実践的な態度」を育てる。
・ 社会的自立に向けて、集団や社会の一員としての在り方や主体的に物事を選択決定できる「健全な生活態度」を育てる。

(2)適応と成長及び健康安全
・ 健全な生活態度や、規律ある習慣の形成を図る資質や能力を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、社会の中で自己を正しく活かす能力や態度を育てる。

(3)学業と進路
・ 自己実現を目指し、自ら進んで学習に取り組む意欲や、自己の個性や学習の成果を生かす進路を、自らの意思と責任で選択する能力や態度を育てる。

【生徒会活動の内容】

(1)生徒会の計画や運営
・ 藍高祭や委員会などの生徒会活動を通して、学校生活における規律や、よりよい校風を確立するなど、学校生活の充実や向上を目指す実践的な態度を育てる。

(2)異年齢集団による交流
・ 部活動や生徒会行事等を通してホームルームや年次を超えた生徒相互の心の交流を図り、全生徒の間に所属感や連帯感を高める。

(3)生徒の諸活動についての連絡調整
・ ホームルーム活動が活発化されるよう、生徒会の連絡調整機能を援助し、生徒会活動に対する生徒の関心・意欲を高める。

(4)学校行事への協力
・ 生徒が学校行事の趣旨を理解し、諸行事に参加・協力することにより、生徒会活動における役割について自覚や責任感を培う。

(5)ボランティア活動などの社会参画
・ ボランティア活動や地域の人々との交流行事に参加することで、人間性を養い、自己実現の力を育む。

【学校行事の内容】

(1)儀式的行事
・ 学校、社会、国家などへの所属感を深めるとともに、厳かな機会を通して集団の場における規律、気品ある態度を育てる。

(2)文化的行事
・ 多様な文化や芸術に親しみ、美しいものや優れたものに触れることによって豊かな情操を育てる。

(3)健康安全・体育的行事
・ 生徒自らが自己の発育や健康状態について関心をもち、心身の健康の保持増進に努めるとともに、身の回りの危険を予測・回避し、安全な生活に対する理解を深める。

(4)旅行・集団的宿泊行事
・ 集団行動を通して基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、集団生活のきまりや社会生活上のルールについて考え、実践し、互いに思いやり、共に協力し合ったりするなどのよりよい人間関係を形成しようとする態度を育てる。

(5)勤労生産・奉仕的行事
・ 勤労生産やボランティア精神を養う体験的な活動を経験することによって、勤労の価値や必要性を体得できるようにするとともに、自らを豊かにし、進んで他に奉仕しようとする態度を育てる。

・ 各教科・科目や総合的な探究の時間などで育成された能力と特別活動で培われた実践的な態度や能力とを相互に関連させ、それぞれの学習活動を補い合い、本校の学校教育目標の達成を目指す。

【生徒指導の機能との関連】
・ 生徒指導の機能が有効に働くように、特別活動において共感的な人間関係を育成し、生徒に自己決定の場や機会をより多く用意し、生徒が自己実現の喜びを味わうことができるよう指導上の配慮を行う。
・ 特別活動の指導を、計画的・継続的な教育相談などの個別指導における指導でも意識的・意図的に展開し、生徒指導のねらいである自己指導能力や自己実現のための態度や能力を育成する。